【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-511464(P2001-511464A)
【公表日】平成13年8月14日(2001.8.14)
【出願番号】特願2000-504207(P2000-504207)
【国際特許分類】
*Ｃ０９Ｂ　67/02　(2006.01)*
*Ｃ０９Ｂ　67/42　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｂ　67/02　Ｂ
Ｃ０９Ｂ　67/42　Ｂ
Ｃ０９Ｂ　67/42　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成17年7月20日(2005.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（Ａ）少くとも一つの水溶性染料もしくは光学的増白剤、および（Ｂ）エクステンダーの混合物であり、
そして、付加的に（Ｅ）粉じん結合オイルを含み、
（Ａ）および（Ｂ）の粒状圧密品を（Ｅ）で処理して得られる、圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項２】　前記混合物が、更に（Ｃ）少くとも一つの親水性界面活性剤を含み、且つ、（Ａ）、（Ｂ）および（Ｃ）の粒状圧密品を（Ｅ）で処理して得られる請求項１記載の圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項３】　前記混合物が、更に（Ｄ）添加剤を含み、且つ、（Ａ）、（Ｂ）および（Ｄ）の粒状圧密品を（Ｅ）で処理して得られる請求項１記載の（Ｃ）含有圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項４】　前記混合物が、更に（Ｃ）少くとも一つの親水性界面活性剤および（Ｄ）添加剤を含み、且つ、（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）の粒状圧密品を（Ｅ）で処理して得られる請求項１記載の（Ｃ）含有圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項５】　０．１～３ｍｍの範囲の粒径を有する請求項１～４のいずれか記載の（Ｃ）含有圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項６】　（Ｅ）が（Ｃ）含有炭化水素油もしくは炭化水素油の混合物である請求項１～５のいずれか記載の圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項７】　（Ａ）および（Ｂ）を含有し、更に（Ｃ）および／又は（Ｄ）をも含有していてもよい未圧密粒状物もしくは粉末が、圧密され、造粒され、そして（Ｅ）と混合されることを特徴とする請求項１～６のいずれかに記載の粒状圧密体の製造方法。
【請求項８】　請求項７記載の方法によって得られる圧密粒状製品（Ｇ）。
【請求項９】　請求項１記載の（Ａ）を用いて、染色もしくは光学的に増白されうる基質を染色もしくは光学的に増白する方法において、（Ａ）が、請求項１～６もしくは８のいずれかに記載の（Ａ）含有粒状圧密体（Ｇ）の形態で用いられる染色もしくは光学的増白方法。
【請求項１０】　（Ｇ）が、浴もしくは捺染のりを製造する濃縮保存溶液を調製するために使用されることを特徴とする請求項９記載の方法。

【請求項１１】　浴もしくは捺染のりが、（Ｇ）の添加により直接製造されることを特徴とする請求項９記載の方法。